施　設　名	施設長名	所　在　地	定員	開設年月日	電話番号
友愛会銀杏寮	本 山　雅 徳	熊本市西区春日5丁目17番36号	６０	S35. 12. 1	096-352-6602
しらがね寮	蓑　田　輝　幸	球磨郡あさぎり町上西835-2	５０	S43. 4. 1	0966-45-6668
天　草　園	三宅　栄一郎	天草市河浦町宮野河内3662-2	７０	S43. 12. 10	0969-78-0053
菊　池　園	福　嶌　秀　信	菊池市泗水町吉富17-1	５０	S47. 10. 11	0968-38-2956
野坂の浦荘	迫　本　文　雄	葦北郡芦北町大字田浦町358-2	５０	S55. 5. 1	0966-87-2277
真　和　館	藤 本　和 彦	阿蘇郡西原村大字鳥子3072	５０	H18. 4. 28	096-279-1121
千　草　寮	片 山　辰 己	八代市千丁町太牟田2618	５０	H21. 4. 1	0965-46-0032

役職員名簿

役職名	職名	氏名	施設名
会　長	施設長	藤本和彦	真和館
副会長	施設長	本山雅徳	友愛会銀杏寮
監　事	施設長	片山辰己	千草寮
事務局	事務員	平畑佳朗	真和館

事業検討委員会

役職名	職名	氏名	施設名
委員長	施設長	福 嶌 秀 信	菊池園
副委員長	生活支援員	松 中 直 人	天草園
委　員	介護職員	沼 田 彩 乃	友愛会銀杏寮
〃	介護支援員	石 橋 弘 士	千草寮
〃	介護支援員	山 崎 哲 成	野坂の浦荘
〃	生活指導員	小 田 敏 宏	しらがね寮
〃	生活支援員	森 田 良 治	真和館

研修委員会

役職名	職名	氏名	施設名
委員長	施設長	蓑 田 輝 幸	しらがね寮
副委員長	生活支援員	蒔 本 健 作	天草園
委　員	介護職員	中村きよみ	友愛会銀杏寮
〃	介護支援員	古岡美智恵	菊池園
〃	介護支援員	坂 田 哲 人	千草寮
〃	介護支援員	元村瀬里奈	野坂の浦荘
〃	生活支援員	藤本美和子	真和館

調査・研究委員会

役職名	職名	氏名	施設名
委員長	副施設長	三 宅 浩 徳	天草園
副委員長	指導員	今 池 有 香	真和館
委　員	介護支援員	鶴 川 君 子	野坂の浦荘
〃	指導員	森 野 貴 恵	友愛会銀杏寮
〃	介護支援員	福 永 浩 美	千草寮
〃	介護職員	愛 甲 和 孝	しらがね寮
〃	生活支援員	中 島 里 美	菊池園

新任職員紹介

銀杏寮

相談員　中山　真

調理員　村上　若枝

野坂の浦荘

介護支援員　山口　義博

介護支援員　小川　幸子

介護支援員　高田　暁仁

介護支援員　佐々木　智美

事務員　堀　尚子

菊池園

看護師　渡辺　貴志

熊救協 2017　６月号（№３０）　編集後記

生活福祉課しらがね寮に異動して、早一年が経ちました。異動前は、農業・林業関係の業務に携わっていました。福祉関係の仕事は初めてのことであり、戸惑った面も多々ありましたが、救護施設の現場が毎日新鮮で勉強することも多く、充実した一年を過ごすことができました。私の人生の目標は、「好きなことだけして生きていく」ことです。フルマラソンに、いつか挑戦してみたいです。これからも、利用者とコミュニケーションをとり、多職種連携で楽しく勤務できるように頑張りますので、皆様もよろしくお願いいたします。　≪熊救協調研委員：愛甲　和孝（しらがね寮）≫

編集：熊本県救護施設協議会　調査・研究委員会
発行：熊本県救護施設協議会
事務局：〒861-2401　熊本県阿蘇郡西原村大字鳥子3072番地
真和館　TEL（096）279-1121
FAX（096）279-1122

２０１７年 ６月号（№３０）

熊本県救護施設協議会

熊　救　協

http://kumakyukyo.sakura.ne.jp

ごあいさつ

菊池園　施設長　福嶌　秀信

この度、4月から施設長に就任しました福嶌と申します。

この菊池園には、ご縁があり平成27年4月から事務長として採用していただき、施設の運営管理に関わり、また当時から当施設の建て替え計画もありましたので、建て替えに伴う関係業務を中心に取り組んでまいりました。

ところで、当施設の建て替え計画においては、平成28年3月末に熊本県より保護施設整備補助金交付決定の通知を受け、同年4月早々に建て替え計画に取りかかった矢先に、これまで経験したことがない大きな熊本地震が4月14日、16日（2回）発生しました。

幸いにして当施設での利用者方のケガ、施設関係の損壊的な被害はありませんでしたが、この震災において被災された方々や建物の崩壊に遭われた方々に対し、心からお見舞い申し上げ一日も早い復興を願った年でもありました。

しかしながら、当施設の建て替え計画は進んでいましたので、県のご指導を仰ぎながら取り進めた結果、8月末には工事着工までたどり着くことが出来ました。

さらに建て替え工事は、半年間という短い期間ではありましたが、工事現場の方々による熱意なる努力で、建物本体は平成29年3月20日に竣工する事ができました。

新しい施設は、旧施設と比べれば建物が2階建てになり、建築床面積も約3倍の広さで、掃除など大変になりましたが、利用者方の暮らしが安心で快適な生活が送れるように、職員と共に施設の運営管理に心がけて参りたいと考えています。

また社会福祉事業の原点に返り、地域での貢献が出来る施設として社会福祉関係施設と連携を取り、包括的な役割を目指していく所存であります。

これからも熊救協の皆様方のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして、私の就任挨拶とさせていただきます。

外　観

食　堂

地域交流室

ごあいさつ

野坂の浦荘　施設長　迫本　文雄

本年１月から野坂の浦荘の施設長に就任し、これまで以上に頑張っている迫本です。

さて、救護施設「野坂の浦荘」では、利用者個人の尊厳保持を基本理念とし、①入所者が心身ともに健やかに育成されるように支援する。②能力に応じ自立した日常生活ができるように支援する。③良質、適切な福祉サービスを提供する。この三つのことを実践し、誠心誠意福祉サービスの向上に努めるよう掲げています。

これまでの施設長が基本理念に基づき、入所者それぞれの人格を尊重し、健康で文化的な生活水準の維持を基本とする運営方針により、救護施設「野坂の浦荘」を立派な施設として築いて来られました。

私も、この施設の運営を引き受けるに当たり、これまで以上に責任の重さに鑑み、身の引き締まる思いで毎日の仕事に取り組んでいます。

現在、社会福祉法人制度改革による、経営組織のガバナンスの強化では、議決機関とする評議員会の必置を、事業運営の透明性の向上では、財務諸表、現況報告書、役員報酬基準等の公表に係る規定の整備等を、財務規律の強化では、社会福祉充実残額（再投下財産額）の明確化を、地域における公益的な取組を実施する責務では、社会福祉事業及び公益事業を行うに当たって、無料又は低額な料金で福祉サービスを提供することを責務として規定すること等が、逐次進められております。

このような状況の中、私も微力ではございますが職員一丸となり、これらの制度改革に鋭意取り組むなど、社会福祉法人「蘇生会」救護施設「野坂の浦荘」の発展のため、誠心誠意努力してまいる所存でございます。

今後とも熊救協の皆様には、ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ごあいさつ

しらがね寮　施設長　　蓑田　輝幸

あさぎり町役場の人事異動により、４月１日から施設長として勤務しております、蓑田と申します。

施設長になる前は、しらがね寮の介護職員として４年間、利用者の方々のご支援をさせて頂いておりましたので、施設長になって利用者の方々から冷やかされながら毎日を過ごしている状態です。

さて昨年は、４月に熊本地震が発生し甚大な被害を県内にもたらしたわけですが、施設が被災した際の長期避難の難しさを実際に聞き、いつ起こるかわからない自然災害に対して、利用者の方々の安全・安心をいかにして守ることができるか考えさせられました。特に精神障害を持っておられる利用者の方々が、住民の方々と同じ空間で長期間生活することは難しく、施設としてどのように対応していくのか頭を悩ませている状況です。

また利用者の高齢化、心身病状の重度化も深刻になってきており、職員の支援の方法も多様化する中、職員への負担が増加してきているというのも悩ましい問題となってきております。

このような状況の中ではありますが、施設の運営方針である「利用者の人格を尊重し、利用者の心身の状況に応じた適切な介護及び指導を行い、安定した日常の生活を営むことができるよう努める。」を念頭に、職員の協力のもと、救護施設としての役割を果たしていけるよう、微力ながら頑張っていきたいと思っておりますので、皆様のご指導・ご協力をよろしくお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

研修委員会

【平成28年度事業報告】

■職員研修会

第1回研修会　平成28年7月14日（木）場所：千草寮　内容：職種別グループ討議、千草寮施設見学　　参加者32名

第2回研修会　平成28年10月27日（木）場所：くまもと森都心プラザ

第7回熊救協・九救協合同研修会「こころの病気（精神障害）に関する研修会」として開催

〇講話　演題「より良いコミュニケーションと職員のメンタルヘルスについてークラフト活用のすすめー」

講師：熊本県精神保健福祉センター臨床心理士　増永　郁理　様

〇講話　演題「アサーティブを用いた利用者とのより良いコミュニケーションについて」

講師：アスク・ヒューマン・ケア・ライフスキル・センター室長　木村　久子　様

県内外救護施設より51名の参加があった。

■研修委員会

第1回：平成28年4月14日(木) しらがね寮　　第2回：平成28年7月21日(木)　野坂の浦荘　　第3回：平成29年1月19日(木) 銀杏寮

【平成29年度事業計画】

■職員研修会

第1回　平成29年6月15日（木）　場所：菊池園　内容：グループ討議及び菊池園施設見学

第2回　平成29年10月10日(火)　くまもと森都心プラザ

第8回九救協合同研修会「こころの病気（精神障害）に関する研修会」

精神障害者との関わり方、アンガーマネジメント等について

国立肥前病院臨床心理士へ講師依頼予定

■研修委員会

第1回：平成29年4月20日(木) しらがね寮　　第2回：　平成29年7月20日(木)　千草寮　　第3回：　平成30年1月18日(木)　菊池園

事業検討委員会

【平成28年度事業報告】

救護施設スポーツ交流会を下記日程で開催予定でしたが、平成28年4月の熊本地震で会場が使用不能となったため、止むを得ず開催を中止しました。

開催日：平成28年5月27日（金）

会　場：パークドーム熊本

内　容：スポーツ交流（グランドゴルフ、ニチレクボール、輪投げ）

■事業検討委員会

第1回　平成28年5月19日（木）　使用会場が不能となり中止

第2回　平成28年10月28日（金）　平成29年度事業実施について　場所：千草寮

第3回　平成29年1月27日（金）　平成29年度交流会の事業実施計画等　場所：天草愛夢里

【平成29年度事業計画】

第1回　平成29年5月19日（金）　平成29年度スポーツ交流会最終打ち合わせ

場所：えがお健康スタジアム会議室

第2回　平成29年7月14日（金）　交流会の総括、次年度事業の計画について　場所：菊池園

第3回　平成30年1月26日（金）　平成30年度事業計画及び予算案策定　場所：野坂の浦荘

調査・研究委員会

【平成28年度事業報告】

■調査研究委員会　第1回：平成28年5月13日（金）天草園　　第2回：平成28年10月21日（金）千草寮

第3回：平成29年2月17日（金）銀杏寮

■熊救協広報誌関係　熊救協第28号(6月発行）送付先⇒137カ所196部　熊救協広報誌第29号（1月発行）送付先⇒137カ所358部

■熊救協ホームページ関係　平成28年5月：熊救協基本方針・各施設利用者状況・役員名簿等の更新、利用者接遇マニュアル及び自立支援取り組み状況調査表の会員専用サイトへの掲載、真和館・野坂の浦荘施設概要更新

平成28年6月：しらがね寮・天草園施設概要更新　　平成28年7月：熊救協広報誌第28号掲載　　平成29年1月：熊救協広報誌第29号掲載

■利用者実態調査　県内救護施設利用者実態調査を実施。「利用者各種統計一覧」としてまとめ、熊救協ホームページ会員専用サイトに掲載(次年度更新分より）。今後も毎年6月末をめどに、4月1日現在のデータを更新していくことにしております。調査の項目は以下のとおりとなっております。①定員（現員）、②一時入所受入れ状況、③居宅生活訓練実施状況、④福祉別一覧、⑤年齢別、⑥在所期間、⑦障害別、⑧年金取得者一覧、⑨障害加算、⑩本人支給金支払い一覧、⑪入退所の状況、⑫身元引受人の状況、⑬入退所の内訳、⑭日常生活状況（食事・排泄・入浴・洗濯）、⑮日常生活状況（起座、立ち上がり、ねがえり、着脱衣、歩行、車椅子使用）、⑯その他（受診状況、通院状況、服薬、インスリン投与者、認知症、喫煙、金銭管理）

【平成29年度事業計画】

■調査研究委員会　第1回：平成29年4月21日（金）千草寮　　第2回：平成29年10月27日（金）菊池園　　第3回：平成30年2月2日（金）銀杏寮

■熊救協広報誌関係　熊救協30号（6月発行⇒137カ所・358部）　熊救協31号（1月発行⇒137カ所・358部）

■熊救協ホームページ関係　熊救協基本方針・熊救協役員名簿・各施設利用者状況等の更新及び広報誌のバックナンバー（30号・31号）並びに利用者実態調査結果表（利用者各種統計一覧）の会員専用サイトへの掲載

■調査研究「利用者支援Q&A（困りごと）」への取り組み

利用者支援上の支援をするにあたり、職員の困りごと等を集計しQ&A方式で纏めることにしております。